

第3回 虎ノ門フォーラム

主 催： 特定非営利活動法人ユーラシア21研究所
日 時： 平成19年7月24日(火) 18:00～19:30
場 所： 海洋船舶ビル10階ホール

プログラム

1. 開 会
2. 講 演

「最近のロシア軍事情勢」

講 師： 岡本 智博 (OKAMOTO, Tomohiro)
元統合幕僚会議事務局長、元空将

コメンテーター： 小川 和久 (OGAWA, Kazuhisa)
(株)危機管理総合研究所代表取締役研究所長、軍事アナリスト

3. 質疑応答
4. 閉 会

配布資料

- ・最近のロシア軍事情勢について (レジュメ)

これからの虎ノ門フォーラムのご案内

9月 5日 (水) 18:00～ 「中国から見たロシアと日本」

講 師： 田代 秀敏
(日興コーディアル証券(株)国際市場分析部長、エコノミスト)

10月 3日 (水) 18:00～ 「サハリンをめぐる日露関係」(仮題)

講 師： 袴田 茂樹
(当研究所理事、青山学院大学国際政治経済学部教授)

10月31日 (水) 18:00～ 「朝鮮半島の有事—四大国の対応—」

講 師： 阿久津 博康
(特定非営利活動法人岡崎研究所主任研究員)

9月以降は有料となります。詳細は別紙「運営計画」(緑色紙1枚・白色紙4枚)をご覧ください。

最近のロシア軍事情勢について

元統合幕僚会議事務局長

元空将 岡本 智博

1. 自己紹介とオデッサケースについて

- ・ 1986 年 5 月～1989 年 6 月：在モスクワ日本国大使館付き防衛駐在官(1 等書記官・参事官)
- ・ オデッサケースは旧ソ連のスパイ活動に対するわが国官憲の対応から生じた不幸な事件であり、当然起こり得るべくして起こった事案
- ・ (なぜ竹島さんだけが帰国命令を受けたか？ なぜ竹島さんは直ちに他の国にアクレジットされなかったのか?)

2. ロシア・プーチン政権の基本政策

- ・ 強いロシアへの回帰とこれを可能とする原油高の趨勢
- ・ ロシア方民主主義のあり方(後述)に対する疑問

3. プーチン政権の軍事関連にかかる政策

- ・ 2000 年 1 月改定の「ロシア連邦国家安全保障コンセプト」
- ・ 2000 年 4 月策定の「ロシア連邦軍事ドクトリン」
- ・ 2002 年 1 月の「2010 年までの国家軍備プログラム」
- ・ 2003 年 10 月の「ロシア連邦軍整備の緊急課題」

4. CIS 加盟国と SCO について

- ・ CIS：ロシア、ベラルーシ、ウクライナ、モルドバ、グルジア、アゼルバイジャン、アルメニア、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、(トルクメニスタンは永世中立国を宣言して非加盟)
- ・ SCO：ロシア、中国、カザフ、キルギスタン、タジキスタン、ウズベキスタン
- ・ CSTO：GUAM およびトルクメニスタンを除く CIS 加盟国。すなわち、ロシア、ベラルーシ、アルメニア、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、タジキスタンの 7 カ国。

5. ロシア連邦軍の中央機構について

- ・ 2007 年 2 月 15 日の国防省交代の意味
- ・ セルジュコフ国防相は、イワノフ前国防相と同じ文民出身

6. 最近のロシア情勢

- 2002. 5 米露両国による戦略攻撃能力削減に関する条約(「モスクワ条約」)署名
(2012. 12. 31 までに核弾頭数を 1700~2200 発に削減)
- 2002. 5 NATO・ロシア理事会設立
- 2002. 6 米国の ABM 条約脱退に対し START II の無効を宣言、地上型 MIRV 復活表明
- 2002. 10 モスクワ市劇場占拠事件
- 2004. 9 北オセチア共和国での学校占拠事件
- 2004. 11 大陸間弾道ミサイル (ICBM) の路上移動型「トーポリ M (SS 27)」の試射に成功
- 2005. 9 新型の潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM「ブラヴァ」) の試射に成功
- 2007. 2 ロシア戦略ミサイル軍司令官のソロツォフ大将は、2006 年末に配備開始となった新型 ICBM「トーポリ M」を、2016 年までに全土に配備する方針を表明

7. イワノフとメドベージェフの論争

- ・ イワノフ副首相兼国防相(当時) の主張

「国家的価値観の3本柱は、主権民主主義、強力な経済、軍事力であり、主権民主主義とは、自国において政策を自ら決定し、武力を含むあらゆる方法により、外圧からこの権利を守る国民の権利である」

- ・ メドベージェフの反論

「民主主義という言葉の上に何らかの定義を加えるのは奇怪であり、それは何らかの非伝統的な民主主義をロシアが目指しているとの誤解を抱かせるものである」

8. ロシアの核兵器・宇宙開発と国防予算にかかる動き

9. 中ロ合同演習「平和の使命2005」について

10. 極東ロシア軍の動きについて

		ロシア軍の戦力推移		
		1989	2002	2006
地上軍師団数 (兵力)	全体	212 個師団 (約 160 万人)	34 個師団 (約 35 万人)	33 個師団 (約 40 万人)
	極東	43 個師団 (約 45 万人)	17 個師団 (約 11 万人)	15 個師団 (約 9 万人)
艦艇隻数 (トン数)	全体	3080 隻 (765 万トン)	800 隻 (194 万トン)	870 隻 (211 万トン)
	極東	800 隻 (194 万トン)	380 隻 (74 万トン)	270 隻 (65 万トン)
作戦航空機数	全体	9380 機	1700 機	2320 機
	極東	2240 機	680 機	630 機

11. 北方領土研修所見

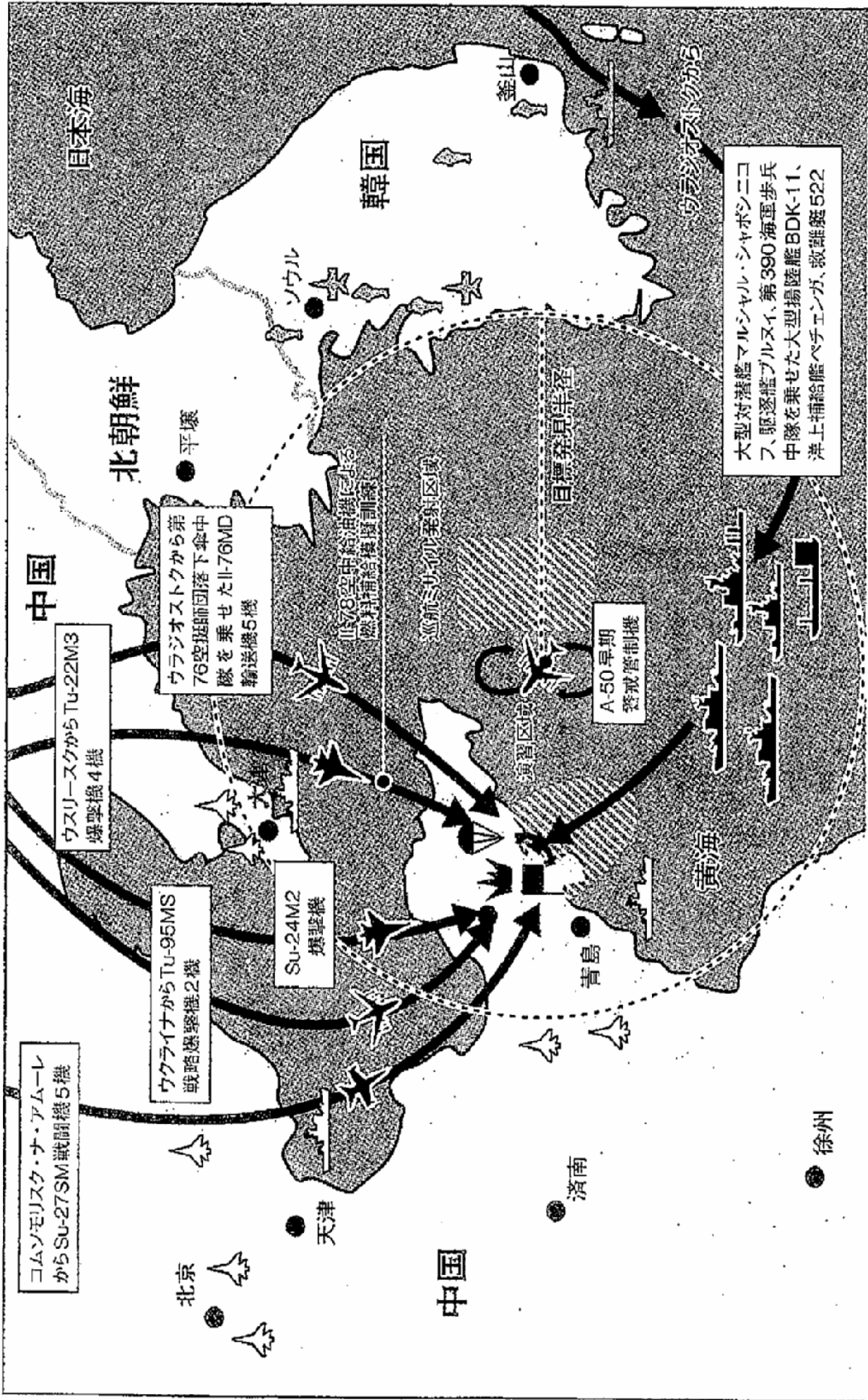
北方領土問題で安倍首相は2月28日、ロシアのフラトコフ首相との会談において「未解決のまま半世紀が過ぎ、日露関係が潜在力を発揮できないのは両国民の利益に合致しない」と強調した。フラトコフ首相も「経済的・技術的プロジェクトの成功は両国の信頼関係を強化し、問題解決のために好ましい環境をつくる」と指摘。双方が受け入れ可能な解決策を目指し精力的に交渉する方針を再確認した。










— 平成19年3月1日付 産経新聞 —

12. まとめ

- ・ ロシアの台頭し始めている「大国主義」を警戒せよ！
(豊富な資源エネルギーを武器にした外交とこれによる軍事大国への回帰)
- ・ ロシアの民主主義の後退を警戒せよ！
(アメリカンデモクラシーもラシスカヤ・デモクラツィザーツィアもともに善くない)
- ・ 安倍内閣は北方領土問題解決に粘り強く情熱を注げよ！
(中国との国境問題を解決したロシアは南下政策を放棄したのであるから、その延長線上として日本の主張に耳を貸すべきである)

以上



 演習司令部  爆撃模擬訓練区域  空挺部隊展開区域  海軍歩兵部隊展開区域  中国海軍基地  中国空軍基地  米国空軍基地  米国海軍基地  米国陸軍基地

(出所) 『コメルサント』 2005年8月8日より作成。